

# 三世代で前向きに水田農業を頑張るプラン

米子市 認定農業者 富田 行博

富田 和子

## 1 はじめに

### (1) 今日までの概要

私の祖父は養豚業と精米所、秋の乾燥受託を行いながら、自作地 70a、借入地 50a を水田経営しておりました。私も父も勤めながらその経営を手伝っておりました。祖父が養豚業をやめ、その後高齢化により体調を崩したため、平成 11 年に私が後継者として家業と農業を継ぐことになり、郵便局でアルバイトをしながら徐々に水田経営面積を拡大してまいりました。

収穫したお米は自家で販売しておりましたので、その当時から「どうすれば安全安心で食味の良いお米を育てることができるのか」を自分なりに研究しお客様に喜んでいただけるよう努力してまいりました。その後、規模拡大に伴いアルバイトを辞め、農業経営改善計画を作成し、母と共同で認定農業者に登録していただき、平成 22 年にはエコファーマーの認定を取得しました。

お米の販売の面でもお客様の相談や質問にきちんと答え、お米についてのアドバイスができるよう、また自信と責任を持って自分の育てた米が販売できるよう、平成 22 年に三星お米マイスター、平成 23 年には米・食味鑑定士の資格を取得し、現在にいたっております。

### (2) 現在の状況

私が就農してから 15 年の間に、少しずつではありますが水田経営面積を拡大しており、現在は自作地 70a、借入地 1300a を家族で経営しております。主な従事者として、母が経営者、定年退職した父と、私、妻、次女で水稻栽培管理と販売を手分けして行っています。また、現在長女は後継者として就農するため、  
にて一生懸命勉強しており、来年には親元就農いたします。

作業分担としては、父は長年の過労のせいか、  
、草刈りや重いものを持つことができず、トラクターや田植え機などのオペレーターとして頑張っており、母は  
、米などが持てず、家の留守番と家事を頑張っています。私と次女が主に草刈り・草取り作業と栽培全般を頑張っており、妻はおもに精米・販売配達をしながら農繁期には手伝ってくれています。

年間労働時間

父	200日
母	30日
私	330日
妻	300日
次女	250日
臨時雇用	120日

米の販売数量

販売品種	24年産	25年産	26年産予定
コシヒカリ	420袋	635袋	760袋
ひとめぼれ	360袋	423袋	500袋
もち	40袋	40袋	40袋

現在の保有機（自己資金）

No	機 械 名	台数	No	機 械 名	台数
1	キャビン付トラクター 32ps	1	11	熱風式乾燥機	6
2	バケット付トラクター 30ps	1	12	赤外線乾燥機	3
3	ドライブハロー 210	1	13	8インチ粃すり機	1
4	ブロードキャスター	1	14	選別機・計量機	1
5	フレールモア	1	15	背負動力散布機	2
6	畦塗り機	1	16	背負動力噴霧機	1
7	田植え機 5条（疎植対応）	1	17	軽トラック	2
8	ツインモア	1	18	精米機	1
9	背負い草刈り機	2	19	色彩選別機 2ch	1
10	肩掛け草刈り機	2	20	計量機	1

## 2 経営、生産の現状と問題点

現在、町内も高齢化が進み、農業をやめたいと考え、田んぼを作ってもらえないかと相談に来られるお年寄りが年々増加しております。我が家としても作業効率上、全てを受け入れることができないため、大変申し訳なく思っているところがあります。

そこで今後、出来る限り経営面積を拡大していくために、現在の問題点とその対策を家族みんなで考えてみました。

### ① 草刈りに多くの労力と時間がかかる

実際に「作って欲しい」と頼まれる田んぼは、水田畦以外のガードレール越しの法面、用水路を挟んだ反対側の小高い法面、幅の広い法面、距離の長い道路沿い、など、中畦以外の草刈りに労力と時間のかかる場所が非常に多く、中には農道脇斜面の草刈りだけで2時間以上かかる田んぼもあります。作業効率上仕方なく、草をそのまま背丈まで伸ばしておられる農家さんや、除草剤を何度もかけて枯らしておられる農家さんもおられますが、我が家では環境に優しい農業をすることを目指しているため、なるべくそれをせず環境保全管理をしていきたいと考えています。受託面積が増えれば増えるほど、草刈りに時間と

労力を要し、受け入れる田んぼに悩んでいるのも現状です。

この問題を解決するためには、トラクター用アーム式草刈機を導入する必要がありますが、現在の32psのトラクターに装着し作業した場合、バランスを崩して転倒したり、装着部・回転部などが無理な負荷で必ず破損するとのことでした。よって、現有の32psに代えて、自重と安定、安全性のある40psのトラクターの購入も必要となります。このトラクターを導入することにより、アーム式草刈機だけでなく、代掻きや耕耘、畦塗りなどさまざまな大型作業機の装着が可能となり、作業時間の短縮と労力軽減・効率のよい作業分散が見込まれます。

また、我が家の草刈りだけでなく、田んぼは作りたいけれど上記のような草刈場所に苦勞しておられる高齢者の方々の力になれるよう、作業の受託も行っていきたいと考えています。

草刈り日数の比較(全面積1400aのとき)

	作業時間	使用機械
現在	$1400a \div 100a / 1日 = 14日 \times 5回 / 年$	背負い・肩掛け草刈り機、自走式ツインモア
将来	$1400a \div 360a / 1日 = 4日 \times 5回 / 年$	背負い・肩掛け草刈り機、自走式ツインモア、アーム式ツインモア

※転作地はほぼ導入機で作業可能。作付け時の中畦は手作業になります。

## ② 着色米・虫食いの選別に時間がかかる

我が家のお米は、なるべく農薬を使わないように栽培しているため、出穂後の殺虫剤は使用しておらず、多少の着色米や虫食い等の被害が見られます。個人販売のお客様にはきちんとした説明をし、ご理解をいただいて購入していただいているのですが、旅館や飲食店などの業務用販売米に対しては理由を説明した上で、これらの見た目の悪い米が極力入らないように手作業による最終確認を行っています。最終確認は、目で見てピンセットではねているのですが、一袋(30kg)当たり60分以上の作業時間がかかります。

この問題を解決するために10chの色彩選別機を導入し、何時間もかかる選別作業を短縮することにより、各顧客の重複注文にも対応することができると考えられます。

1袋 / 30kgの選別時間の比較(現在1kg=2分)

現在	30 kg = 60分
将来	30 kg = 30分

## ③ 稲刈り費用がかさむ

我が家では稲刈りの時期に乾燥の受託を行っているため、収穫作業まで手が回らず、全ての圃場の稲刈りを生産組合や個人の農家さんに振り分けて委託している状況です。そのため、刈り取りだけで毎年 万円以上の委託料が発生しています。生産組合の方々も、他の農家の方の受託も行っておられるため、適期刈り取りをできないことが多々あります。

連日雨が続くと予約日がずれ、必ず刈り遅れになります。また、コンバインのオペレーターも70代80代と高齢化してきており、いつまで受託していただけるのか、わかりません。

今までは受託乾燥作業で手一杯な中、戸別補償制度の補助金で稲刈り委託料の支払いをなんとか出来ているのだと自分に言い聞かせ心持ち助かっていたのですが、この制度も半額から廃止の方向へと向かっております。そうなればもちろんこの費用を他のところから捻出しなくてはなりません。

そこで、この問題を解決するために、長女が卒業後オペレーターとして稲刈り作業をすべく、にて大型特殊の免許を取得しました。今後コンバインを導入することにより、自家の圃場を長女が適期に稲刈りすることができ、委託費用も軽減されることが考えられます。

長女には就農後2年程度、近所のコンバインを借りて作業の経験を積ませ、親元就農研修終了後の平成29年度にコンバインを導入したいと考えています。

稲刈り委託料金（運賃込み）

円 /  $10a \times 1, 100 a =$  円

減価償却した方が年間の経費支出も抑えることができる。

### 3 目標

#### 自家栽培米のブランド化と販路拡大

経営面積を拡大することにより、収穫した米が余ってしまうことが考えられます。目標は、自家栽培の米は全て自家販売することですので、新たな販路の拡大もしていかなければなりません。そのためには、やはり個人ブランドの特徴を最大限に活かして販売をしていく必要があると考えます。今や「環境に優しいお米」、「安心安全なお米」というフレーズは当たり前な世の中になってきており、その中で価格競争が始まっているのも現状です。消費者からしてみれば、安心安全でおいしいお米が少しでも安く買えた方が嬉しいことでしょう。しかし、ただお米を売っているだけではお客様に「私たちが生産しているお米は安心安全でおいしいお米です」ということはなかなか伝わりません。私はただお米を売るのではなく、それを育てる人の心や栽培している水田環境も一つの商品価値として気に入っていただけるように心がけたいと考えています。

我が家で収穫するお米は、米・食味鑑定コンクール国際大会で金賞を受賞することを目標とし、その栽培方法を毎年研究・工夫して出品しています。その結果、年々食味値も上昇しており、予選通過まであと一步というところまで来ています。4000検体の中からのノミネートですので、かなり厳しい道のりではありますが、我が家のモチベーションを維持するためにも、これからも参加し続け、地区でも説得力のあるブランド米ができることを実証し、この町の農業に少しでも元気とやる気を取り戻してほしいと思っています。

そして、安心して安全な良食味米を栽培するにあたり、どのような気持ちでお米を育てているのかお客様にもわかりやすく手紙・チラシなどでPRし、我が家の設定したお米の価格を納得して快く購入してもらえるように努力して行きたいと考えています。商談会にも積極的に参加していこうと思っています。

この取り組みを積み重ね続けることにより、今後もお客様に喜んでいただき、徐々に販路拡大することができれば、今後もよりいっそうの楽しみと充実感を感じながら精進し、親子三世代で前向きに水田農業を頑張っていけると思います。

#### 今後の面積拡大目標

26年	27年	28年	29年	30年
1400a	1700a	1800a	1900a	2000a

#### 水稲品種作付計画

品種	作付面積(ha)				
	平26	平27	平28	平29	平30
ひとめぼれ	4.0	4.5	4.5	4.5	4.6
コシヒカリ	6.0	6.7	6.8	6.8	6.9
きぬむすめ	0.0	0.7	1.4	1.8	2.3
ハクトモチ	0.3	0.9	0.9	1.1	1.2
合計	10.3	12.8	13.5	14.3	15.0

#### トラクター利用計画(平30)

機種	類別	使用面積(ha)				合計	(草刈り)
		水稲	飼料米	れんげ			
30ps	I	7.0		3.0	10.0		
40ps 新	II	8.0	2.0		10.0	(20.0)	

※現有32psは廃棄予定

#### 役割分担(平30)

私	播種・育苗・耕耘・肥培管理・草刈り・乾燥調製・精米・販売
父	耕耘・乾燥調製
母	精米・販売・経理
妻	精米・販売・配達・経理
長女	播種・育苗・田植え・肥培管理・草刈り・稲刈り
次女	播種・育苗・耕耘・肥培管理・草刈り・乾燥調製
臨時雇用	播種・肥培管理・草刈り・乾燥調製

#### 4 今後の具体的な取り組み

##### 具体的な取り組み計画

取り組み内容	27年	28年	29年	役割分担
トラクター 40ps 導入	◎			本人、市、県
アーム式草刈機 導入	◎			本人、市、県
色彩選別機 10ch 導入		◎		本人、市、県
コンバイン5条 導入			◎	本人、市、県
長女の親元就農・研修	●	●		本人、市、県
米食味鑑定コンクールへの出品	○	○	○	本人
新規販売先の開拓(商談会への参加)	○	○	○	本人

◎はがんばる農家プラン事業を活用、●は親元就農支援事業を活用

##### がんばる農家プランの事業費計画

取り組み内容	事業費総額 (税抜き、円)	負担額(円)		
		県	市	本人
トラクター 40ps 導入	5,762,000	1,920,667	960,333	3,341,960
アーム式草刈機 導入	1,108,000	369,333	184,667	642,640
色彩選別機 10ch 導入	4,500,000	1,500,000	750,000	2,610,000
コンバイン5条 導入	7,000,000	2,333,333	1,166,667	4,060,000